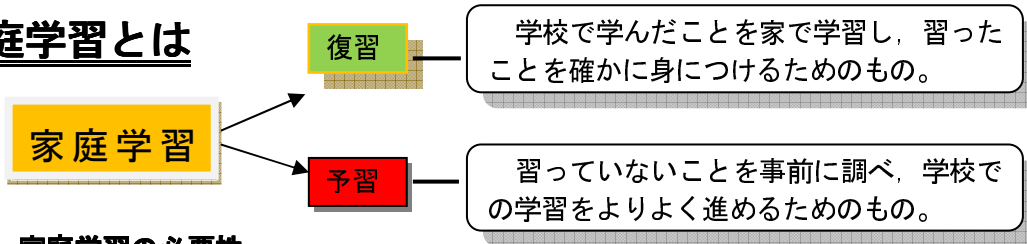


家庭学習とは



1. 家庭学習の必要性

【学力向上の面から】

学習したことを確実に身につけるためには、その日のうちに家庭で復習すると効果が上がります。

より速く・正確に計算したり、より正しく文字や文章を書いたりする力は一朝一夕には育ちません。だからこそ、毎日復習を家庭で継続していくことが大切なのです。

【社会的な背景から】

よりよい生活習慣や学習習慣をしっかり身につけることが、自立への基礎を培うことにつながっていきます。家庭学習では、自分が向上することの嬉しさや、人から認められることの喜び、また、それらを支えるやる気を身につけることができます。

2. 家庭学習を進めるときに気をつけること

- 毎日一定時間、学習に取り組むこと。
- 学習に集中できるよう、テレビを消して、机の上を片付ける。
- テストやプリントなど、ファイルにとじて、いつでも復習しやすいように整理する。
- 保護者が学習の様子を見届ける。

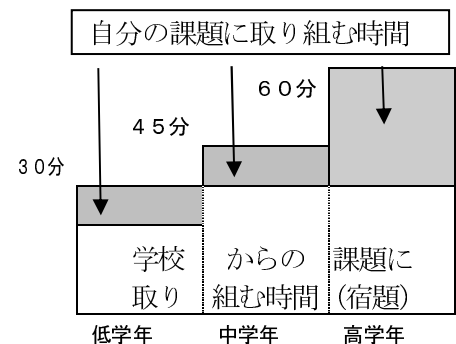
3. 家庭学習の時間の目安 (家庭学習の時間はあくまでも目安であり、個人差を考慮する必要があります。)

低学年…20分～30分程度

中学年…30分～45分程度

高学年…45分～60分程度

基本的に、まず学校からの課題（授業の復習）を最後まで丁寧に取り組めます。その後、学年に応じて子どもが自分で課題設定する自主学習を行います。その際、『家庭学習のしおり（児童用）』の「おすすめの内容」を参考にして取り組むと効果的です。



4. 子どもへの声かけ

家庭学習において、子どもへの声かけは大変重要なものです。子どもがやる気になる3つの声かけを紹介します。

- ① **ほめる** …「こんなにきれいに書けるのだね。すごいね。」
- ② **はげます** …「毎日続ければ必ず速く計算ができるようになるよ。」
- ③ **ひろげる・ふかめる** …「この頃、漢字の間違いがなくなってきたね。この調子で漢字を多く使ってみたらいいよ。」

